

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 書 写

番号	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
観 点	東書	002-72
取 扱 内 容 〔 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等 〕	<p>○硬筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～字形と配列を整える書き方を確かめて書いたり、話を聞きながらメモを取るときに気を付けることを考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して楷書で書く活動</p> <p>第2学年～行書の様々な書き方を漢字表などで調べて書いたり、楷書と行書を使い分けるには、どのような観点が必要かを考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く活動</p> <p>第3学年～国語科で学習する文学作品などの一節を書いたり、身の回りの文字の目的とそれに応じた工夫を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動</p> <p>○毛筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～点画の連続について、形の特徴などに気を付けて書いたり、楷書と比べながら点画の方向や形の変化を考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く活動</p> <p>第2学年～点画の省略に気を付けて書いたり、楷書と比べながら行書に調和する仮名の特徴を考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く活動</p> <p>第3学年～自分で選んだ言葉を書き初めて書いたり、伝えたい思いを効果的に表現するための工夫を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動</p> <p>○硬筆と毛筆の関連については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～点画の書き方と字形の整え方、文字の大きさと配列など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動</p> <p>第2学年～点画の省略や筆順の変化、行書に調和する仮名など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動</p> <p>第3学年～これまでの毛筆の学習を生かし、「思いを文字で表そう」において、卒業に向けた作品を筆記具や文字の大きさを工夫して書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書写のかぎ」を参考にして、仮名を整えて書くために気を付けることを考えたり、仮名の書き方と字形の特徴について理解したことを自分の書いた文字で振り返ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書写のかぎ」を参考にして、行書と仮名の調和について考えたり、どのように行書と仮名が調和しているのかを筆圧の変化、筆脈の用語を使って説明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書写のかぎ」を参考にして、現代につながる文字の役割について考えたり、文字が果たしてきた役割や現代とのつながりについて話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>	

<p>内容の構成・排列</p>	<p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～楷書について、点画の書き方と字形の整え方を確かめた後に、仮名の書き方と字形の特徴を理解して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～行書について、点画の省略や形の特徴などを確かめた後に、行書と仮名の調和について理解して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～手書き文字の特徴を確かめた後に、ノートの効果的な書き方について理解したことを話し合う活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○お礼状や防災パンフレットの書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材(第1・2学年)や、文字の歴史や使われ方など、文字文化についてのコラム(全学年)を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○様々な書式とそれらを生かす場面について学ぶ題材「生活に広げよう」(全学年)や、学校生活だけでなく生涯にわたって社会生活の中で使用される様々な書式について学べる「書写活用ブック」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○振り仮名などの小さい文字でも読みやすいカラーユニバーサルデザインフォントを使用したり、全ての生徒の色覚特性に適応するようなデザインにしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、個別最適化された学びの実現を意図するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※中学校用教科書目録(令和7年度使用 文部科学省)による</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 書 写

番号	発行者略称	教科書番号
観点	三省堂	015-72
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<p>○硬筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～字形を整え、文字の大きさと配列に気をつけて書けるよう、点画の組み立て、部品の組み立て、外形に気を付けて書いたり、点画の丸み、点画の連続、点画の形や方向の変化に気をつけて書いたりする活動</p> <p>第2学年～日常において楷書と行書という書き方を使い分けられるよう、行書における点画の省略や筆順の変化に気を付けて書いたり、行書に調和する仮名の特徴を知り、行書と仮名の調和を意識して書いたりする活動</p> <p>第3学年～学んだ文字文化の知識を生かすことができるよう、身のまわりの生活の中から印象に残った文字を見つけ、その工夫や効果を考えたり、身のまわりの出来事を効果的な文字表現によって書いたりする活動</p> <p>○毛筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～漢字の行書の基礎的な書き方を理解できるよう、点画や筆脈の連続に気を付けて書いたり、点画の形や方向の変化を考えながら書いたりする活動</p> <p>第2学年～日常において楷書と行書という書き方を使い分けられるよう、点画の省略に気を付けて書いたり、楷書に調和する仮名を理解して書いたりする活動</p> <p>第3学年～学んだ文字文化の知識を生かすことができるよう、中学校生活の中で出会ったお気に入りの言葉を書いたり、書体などに注意を払って書いたりする活動</p> <p>○硬筆と毛筆の関連については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～硬筆による書写の基礎を身に付けられるよう、文字の大きさと配列、点画の形や方向の変化など、毛筆で学んだことを生かして硬筆でも反復練習を行う活動</p> <p>第2学年～硬筆による書写の基礎を身に付けられるよう、点画の省略や筆順の変化、行書に調和する仮名など、毛筆で学んだことを生かして硬筆でも反復練習を行う活動</p> <p>第3学年～硬筆による書写の基礎を身に付けられるよう、これまでの毛筆の学習や文字文化の知識を生かして紙の大きさ・色・素材、筆記具などを決めて書く活動</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「目標」と「振り返り」において、学習課題を設定し、見通しをもたせ、達成度の確認を促すとともに、「やってみよう」では生徒どうしの対話を通して書写の学習を深められるよう、グループ新聞を作成して発表する活動</p> <p>第2学年～「目標」と「振り返り」において、学習課題を設定し、見通しをもたせ、達成度の確認を促すとともに、「やってみよう」では生徒どうしの対話を通して書写の学習を深められるよう、情報誌を作成して発表する活動</p> <p>第3学年～「目標」と「振り返り」において、学習課題を設定し、見通しをもたせ、達成度の確認を促すとともに、「やってみよう」では生徒どうしの対話をとおして書写の学習を深められるよう、名言集を作成して鑑賞する活動</p>	

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～字形の整え方と筆使いを確かめた後に、仮名の字形と筆使いを確かめて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～点画の省略や筆順の変化などを確かめた後に、行書と仮名の調和を意識して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～手書き文字や活字の特徴を確かめた後に、効果的に文字を書くことの必要性について考える活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○本編に入る前に「学習の始めに」を置いて小学校までの既習事項を整理して連携を図る工夫がなされている。</p> <p>○グループ新聞や地域の魅力をまとめた情報誌の書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材(第1・2学年)や、文字を手書きすることの意義を見つめ直す教材(第1・3学年)を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○学習した内容を他教材や他教科・社会生活で活用できるようにした教材「やってみよう」(全学年)や、日常生活・社会生活の中で必要となる書式を確認したり、伝統文化に親しむ資料にふれて高等芸術書道への興味・関心が得られるよう「資料編」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○書写文字の解説図版に、朱墨を使ったり筆の移動を示すマークなどを用いたり、教科書全体において挿絵・図版を適所に配置したりすることで、学習者が視覚的に理解しやすいよう工夫がなされている。</p> <p>○学習上重要な項目は大きな文字や目立つフォントで示したり、色覚の特性を考慮し、カラーユニバーサルデザインの専門家による校閲を受けて、誰にでも見やすく、学びやすい配色をしたりなど学びやすくなるよう工夫がなされている。</p> <p>○端末を活用した学習活動に使えるものとして二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※中学校用教科書目録(令和7年度使用文部科学省)による</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 書 写

番号	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
観 点	教出	017-72
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<p>○硬筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～字形の整え方と筆順のきまりを確かめて書いたり、ノートを読みやすく速く書くためにはどうしたらよいかを考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して楷書で書く活動</p> <p>第2学年～行書の部分の書き方を確認して書いたり、行書と仮名の調和のさせ方と速く書きやすくするための工夫を考えたりする活動や、徒然草など国語の授業で取り扱った作品を視写する活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く活動</p> <p>第3学年～行書と仮名の調和や配列を確かめて書いたり、身の回りで見かける文字の表現効果を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動</p> <p>○毛筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～点画の連続と形の変化に気を付けて書いたり、楷書と比べて点画の連続や形が変化している部分はどこかを考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く活動</p> <p>第2学年～点画の省略に気を付けて書いたり、漢字と仮名の大きさ、配列を考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く活動</p> <p>第3学年～点画の連続と配列に気を付けて書いたり、書籍の文字の書体による表現効果を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動</p> <p>○硬筆と毛筆の関連については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～点画の筆使いと字形、楷書に調和する仮名の筆使いなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動</p> <p>第2学年～点画の省略や筆順の変化、行書に調和する仮名の書き方など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動</p> <p>第3学年～これまでの毛筆の学習を生かし、「三年間の学習の成果を生かそう」において、書体や筆記具などを工夫して中学校の魅力が伝わるリーフレットを書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、楷書と仮名を調和させるための書き方を考えたり、漢字と仮名の大きさ、文字の中心、字間、余白について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、漢字の行書の連続、省略、変化と仮名の調和を考えたり、行書と仮名の調和や配列に気を付けて硬筆で書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第3学年～「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、自分で取材した文字や教科書の写真の文字について印象や表現効果を考えたり、考えた内容を取材レポートにまとめ発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>	

<p>内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～楷書の点画の筆使いと字形を確かめた後に、楷書に調和する仮名の筆使いを理解して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習ができるような工夫</p> <p>第2学年～行書の点画の省略や筆順の変化などを確かめた後に、行書に調和する仮名の筆使いを理解して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的な学習ができるような工夫</p> <p>第3学年～行書と仮名の調和について、漢字と仮名の大きさ、配列を確かめた後に、俳句を小筆または筆ペンで書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○お薦めの本の帯や新聞の書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材（第1・2学年）や、身の回りで見られる書などの味わい深さを実感できるコラム（全学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○他教科や日常生活に活用できるよう関連を図った教材「学習を生かして書く」（全学年）や、中学校生活や社会生活に必要な手紙、封筒、一筆箋、年賀状、はがきなどの書き方を取り扱った「書式の教室」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○見やすさ・読みやすさの配慮したユニバーサルデザインフォントを使用したり、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインにしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○「まなびリンク」を活用することにより、動画で筆使いを確認するなど、授業に限らず家庭学習においても活用できる、個別最適な学び方ができる配慮がなされている。</p>
<p>その他</p>	<p>※中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

令和7年度から使用する中学校用教科用図書の答申書

教科名 書 写

番号	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
観 点	光村	038-72
取 扱 内 容 〔 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 ・ 各 学 年 の 目 標 ・ 内 容 等 〕	<p>○硬筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～文字の外形や中心に気を付けて書いたり、終筆の方向と形の変化を考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して楷書で書く活動</p> <p>第2学年～点画の省略に気を付けて書いたり、場面に応じた楷書と行書の使い分けを考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く活動</p> <p>第3学年～書写の学びを生かしながらポスターや看板を書いたり、手書き文字のよさを考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動</p> <p>○毛筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～点画の変化に気を付けて書いたり、楷書と比べて点画が変化しているところを考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く活動</p> <p>第2学年～筆順の変化を理解して書いたり、行書と仮名の調和を考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く活動</p> <p>第3学年～三年間で学習したことを振り返り、自分の課題を確かめて書いたり、未来の自分をイメージして自分の名前をどのように書くかを考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動</p> <p>○硬筆と毛筆の関連については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～漢字を構成する点画の種類と筆使い、点画の変化や連続など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動をとおして硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動</p> <p>第2学年～点画の省略や筆順の変化、行書と仮名の調和など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動をとおして、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動</p> <p>第3学年～これまでの毛筆の学習を生かし、「防災フェスタを開こう」において、テーマを決め、集めた情報をもとにポスターや看板などを書く活動をとおして、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学びのカギ」を参考にして、楷書と行書を比べて点画がどのように変化しているかを考えたり、点画の変化について学習したことを生かして硬筆で書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p> <p>第2学年～「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学びのカギ」を参考にして、楷書と行書を比べて点画が省略されているところを考えたり、点画が省略される理由を話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>	

	<p>第3学年～「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学習の進め方」を参考にして、身の回りには、どのような文字があるかを考えたり、文字から受ける印象や、気付いたことを話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動</p>
内容の構成・排列・分量等	<p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～漢字を構成する点画の種類と筆使いを確かめた後に、楷書に調和する仮名の筆使いや字形を確かめて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～行書について、点画の省略や筆順の変化などを確かめた後に、行書に調和する仮名の特徴を確かめて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～身の回りには様々な文字があることを確かめた後に、文字の使い分けや効果について気付いたことを書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p>
使用上の配慮等	<p>○集めた情報をまとめたノートやポップの書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材(第1・2学年)や、文字や文字文化への理解・関心を高める教材(第2・3学年)を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○書写で身に付けた力を日常生活に生かせるよう国語や他教科等で活用できる教材(全学年)や手紙やはがき、原稿用紙、通信文等の書式を整理して示した「日常で役立つ書式」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○読みやすさを考慮して独自に開発したオリジナルの教科書体を使用したり、複数の色を組み合わせるときには、色覚の多様性に配慮し、誰もが識別できる配色を採用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られており、大変よくできている。</p>
その他	<p>※中学校用教科書目録(令和7年度使用 文部科学省)による</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>